

週報

国際ロータリー第 2660 地区

令和 4 年 2 月 8 日



SERVE TO CHANGE LIVES

2021~22 年度
国際ロータリー会長
Shekhar Mehta

(奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために)

豊中ロータリークラブ

第 2525 号

広めよう ロータリーの心 地域とともに

創立 1959 年 6 月 16 日

Rotary



2021.7~2022.6

会 長 森本博明
副 会 長 北村公一
幹 事 小川佳伸
雑誌・広報・会報委員長
澤木政光

本日 (2 月 8 日) のプログラム

次回 (2 月 15 日) のプログラム

「国際奉仕月間に因んで」

「生命保険の基礎知識について」

国際奉仕委員長 : 小寺潤一

卓話担当 : 横田広司

☆会長の時間☆

「第 8 回定例理事会より」

2021-22 年度 会長 森本博明

蔓延防止重点措置発令中による休会により、2 月 2 日 (水) 20 時に ZOOM による理事会を開催いたしました。

- ・各委員会の報告事項は特にありませんでした。
- ・レトルトカレーの寄付の件は豊中広報に、米と食品と一緒に掲載して値段 (43 万 2 千円) を入れてもらう。
- ・春の家族会に関しては、天橋立で小牧会員に再度お願いします。
- ・組織表の件に関しては委員会の縮小など、次年度会長・幹事で決めていただきます。
- ・事務局給与と定年退職の件
- ・就業規則の件に関しては改定した資料を 2~3 月に理事に配布して確認及び承認してもらいます。
- ・年間スケジュール表、目的別ニコニコ箱の件は私 (森本会長) に一任。
- ・地区から依頼を受けた「2022 年 1 月トンガ海底火山大規模噴火」の件に関しては、5 万円を寄付します。
- ・地区 100 周年記念誌「ロータリーミニッツ 2660」の出演者推薦の件は、原会員をお願いします。
- ・サンマテオの件は、豊中サンマテオ協会には毎年 3 千円を寄付します。サンマテオ RC とは 2027 年条約終了までは続けます。

以上のことが協議されました。

コロナ禍の影響で、会員の皆様とお会いできないのが大変残念です。3 月からの例会にはお会いできるのを楽しみにしております。

最後になりましたが 2 月 8 日の例会に予定されていましたが小寺国際奉仕委員長の卓話「国際奉仕月間に因んで」及び国際奉仕フォーラムが休会のため中止になりました。2 月の豊中ロータリークラブ ZOOM 談話室を 2 月 21 日 (月) 20 時に開催し、談話室で小寺国際奉仕委員長にお願いしておりますので会員の皆様、是非ともご参加いただくようお願い致します。

四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

事務局・例会場 : 〒560-0021 豊中市本町 3 丁目 1 番 16 号 ホテル アイボリー内
TEL 06-6858-1551 FAX 06-6857-0011

例 会 日 時 : 毎週火曜日 12 時 30 分より

事 務 局 : 10 時~16 時 (土日祝を除く)

H P ア ド レ ス : www.sun-inet.or.jp/~jtrc2660/

メー ル ア ド レ ス : jtrc2660@sun-inet.or.jp

○幹事報告○

- ・国際ロータリー日本事務局より
「国際ロータリー人頭分担金請求書」が届きました。
- ・国際ロータリー第 2660 地区
「2022-23 年度 ロータリー財団 地区補助金申請受付開始のお知らせ」が届きました。
- ・大阪大淀 RC より
「第 2 回ガバナー補佐訪問について」が届きました。

☞ 掲 示 板 ☞

- ・R 財団創立記念日
1905 年 2 月 23 日です。
- ・第 9 回定例理事会
日 時：2022 年 3 月 1 日（火） 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会会場

※3 月 8 日の例会は定款により休会となります。

- ・社会奉仕フォーラム
日 時：2022 年 3 月 15 日（火） 例会終了後
場 所：ホテルアイボリー 例会会場
- ・第 2 回ガバナー補佐訪問
日 時：2022 年 3 月 22 日（火） 例会時
場 所：ホテルアイボリー 3F 例会会場

豊中ロータリークラブ ZOOM 談話室報告
令和 4 年 1 月 31 日 20 時開催
参加者：小川、北村、小寺、米田、武枝、田中、
真下、松山、宮田、森本（敬称略、五十音順）
話題として寄付・ニコニコ箱の在り方、目的別ニコニコ箱、会員増強への取り組み、入会の動機と入会後の感想、サンマテオ RC との姉妹提携、マイロータリー入会促進、トンガ救援寄付、子ども食堂へのレトルトカレー寄贈等がありました。ロータリーの根本はなにか、親睦とは、等のロータリーの根幹にかかわる議論がありました。
貴重なご意見をいただきありがとうございました。
(文責 北村公一)

☆3 月受付当番☆

チーフ：小牧義昭会員

3 月 1 日 村司辰朗会員、矢野 昭会員
3 月 15 日 真下 節会員、松本 悟会員

◎副幹事・副 SAA 当番◎

3 月副幹事 松本拓朗会員
3 月副 SAA 小牧義昭会員

※2 月の例会は蔓延防止等重点措置発令に伴い休会となります。

☞2 月 1 日の誌上卓話☞



「平和フェロシッププログラムについて」

卓話担当：矢野 昭

2 月は“平和構築と紛争予防月間”です。次週の国際奉仕委員長からの卓話で詳しいこととお話しされると思いますが、私なりに紛争予防について考えてみました。

全世界、いずれかの場所で紛争が起こっているのが現状です。では、この現状に対して我々ロータリアンは何ができるのでしょうか。直接現地に赴き、そこで起こっている問題を解決することができるのでしょうか。それは、出来ません。あまりにも危険が多く、現地の人を助けるどころか自分の身を守るすらできないでしょう。この問題に対し国際ロータリーとロータリー財団は“平和フェロシッププログラム”を推進し、紛争予防と紛争解決のエキスパートを養成し、世界の紛争地域へ派遣しています。これからは、私たちもこの“平和フェロシッププログラム”を支援していかなくてはいけないのではないかと考えます。

どこの国のどの民族も幸福を求めています。その求める気持ちの考え方、価値観がほんの少しのずれを生み、集団となり、紛争を起こしています。現状、私たちが直接解決できないことも、この“平和フェロシッププログラム”で教育されたエキスパートにより、少しでも解決に向けて動いていけるのであれば、是非とも支援していきたいと考えます。紛争により犠牲になる立場の弱い子供や女性、老人等をひとりでも少なくすること、それこそがロータリーの基本精神である「友愛」を広めるということになるのではないのでしょうか。それが私たちの責任と考えます。

ご興味のある方は、“平和フェロシッププログラム”で検索してみてください。